

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊



ガーデン・ツーリズム登録制度

令和4年度 登録計画事業実施報告



みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会

令和5年3月

2) 情報発信事業 (みやぎ蔵王ハーモニー花回廊のオリジナル切手の製作・販売)

(1) 事業概要

- ・実施主体：日本郵便株式会社東北支社
- ・実施時期：令和4年10月～
- ・実施施設：宮城県南市町の郵便局及び
仙台中央郵便局 (62局)

(2) 実施概要

日本郵便株式会社東北支社で、「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊」の構成庭園等を題材したオリジナルフレーム切手を製作・販売。



3) 宮城大学との連携 (地域実践型連携教育と連携したガーデン・ツーリズムの構築)

(1) 事業概要

- ・実施主体：宮城大学
- ・実施時期：令和4年8月～12月
- ・実施施設：船岡城址公園 (柴田町)

(2) 実施概要

宮城大学では、地域の歴史・文化・資源・を活かしたコミュニティづくりや、地域の人々と共に問題解決ができる人材(コミュニティプランナー)の育成を目指したプログラムを展開しており「ナラティブ(地域からの物語)」を意識した、県南地域におけるガーデン・ツーリズムの取り組みをフィールドとして、協議会と大学が連携して、ツーリズムの構築に取り組んでいきます。

令和4年度は、宮城大学学生36名が、8月～12月の期間で、事前学習からフィールドワークを行う事で、魅力や課題に対する気づきから、協議会会長へ企画提案を行った。



○その他特筆すべき取組と成果

1) 構成自治体及び民間事業者での連携強化

(1) 事業概要

- ・実施主体：みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会
- ・実施時期：令和4年10月～令和5年3月

(2) 実施概要

①構成自治体職員等を対象とした研修会

構成自治体の担当者を対象として、ガーデン・ツーリズムの目的を再確認し理解を深めると共に、地域との協働協創による事業促進を図るための研修会を実施。

「ガーデン・ツーリズムとは」

講師：東北国営公園事務所 澤田大輔所長

「地域との連携・協創によるガーデン・ツーリズムの促進」

講師：宮城大学事業構想学群 佐々木秀之准教授



②民間事業者等を対象とした研修会

浜松・浜名湖ツーリズムビューローの竹内理事・事業本部長を講師として招き、民間事業者を対象として、ガーデン・ツーリズムの制度の目的とガーデン・ツーリズムの先進地である浜名湖アメージング・ガーデンの取組み事例から、観光圏として事業者間の連携の重要性について学んだ。



○まとめ

(1) 全体を通しての効果や成果

令和4年4月に東北地方初のガーデン・ツーリズム制度の登録となり、協議会活動推進の気運が高まったものの、コロナ禍の影響が根強く、各構成庭園におけるイベント等が開催できない状況が続いた。そうした中でも、コロナ終息後のガーデン・ツーリズムの本格始動に向けて、当協議会のホームページの製作・立ち上げや研修会等を通じた機運の醸成に取り組んだ。

そうした活動を通じた今後の方向性として、本協議会の自立・自走型システムを構築するため、官民連携まちなか再生推進事業を活用して、未来ビジョンの策定に取り組むことにつながった。

(2) 今後の取組

令和5年度より、官民連携まちなか再生推進事業を活用した未来ビジョンの策定に着手します。

【取組の主な計画】

- ・「四季ルート」を基に専門人材などの意見を取り入れながら、モニターツアーを実施する。
- ・広域に連携したスタンプラリーや共通商品券（または割引券）の発行を行う。
- ・事業者連携としてキッチンカーキャラバンを実施する。
- ・地域の現状の調査・検討
(観光資源一覧を地域の交通事情や歴史的背景なども加味しながらブラッシュアップ)
- ・モデルコース案を策定
(「四季ルート」を基に日帰り・宿泊などの所要時間別、季節別などで掘り下げ)
- ・モニターツアーを実施
(アンケートなどからルート設定や回遊時間などを参加者属性ごとに分析。)
- ・スタンプラリーやキッチンカーキャラバンの実施
(周遊を促す方策としてイベントのスタイルを検討)
- ・多様な専門人材と連携し、DESTINATION・デザインを取り入れた未来ビジョンの策定に取り組む。

その他随時、協議会総会や各部会を開催し、情報共有を図る。

モニターツアーなどの実証実験の結果をまとめながら、令和5年度は未来ビジョンの素案を策定する。